

抗がん剤に関わる薬剤の適正使用

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は、抗がん剤に関わる薬剤の適正使用に貢献できた事例のプレアボイドを紹介いたします。

患者背景

- ▶ 悪性リンパ腫に対して化学療法（R-CHOP）施行中の患者
※抗がん剤の投与は本日 14:00 に終了している。

【処方】

ジーラスタ[®]皮下注 3.6mg 1回 3.6 mg皮下注 翌朝 9:00 投与

Aさん



医師

Aさんは、先程無事に抗がん剤投与が終了されたようですね。

確認させていただきたいのですが、
ジーラスタ[®]皮下注はいつ頃投与される予定ですか？

明日の午前中です。9時に投与しようと考えています。



薬剤師

そうですか。
ジーラスタ[®]皮下注ですが、添付文書では次のような記載があります。
〈用法・用量に関連する使用上の注意〉
がん化学療法剤の投与開始 14 日前から投与終了後 24 時間以内に
本剤を投与した場合の安全性は確立していない。

抗がん剤投与終了後 24 時間は、相互作用により骨髄抑制が強くなる
可能性がありますので、ジーラスタ[®]皮下注の投与時間を遅らせることは
できないでしょうか？



なるほど。
投与時間の指示を変更しておきます。
ありがとうございました。

よろしくお願ひします。



相互作用を考慮し投与時間を確認することで、薬剤の適正使用に貢献できた。